

令和3年度 第1回富山県道路安全・円滑化検討委員会 議事概要

開催日時：令和3年8月4日(水) 10:00～12:00

開催場所：富山河川国道事務所 3階大会議室

出席者：富山国際大学 名誉教授

富山大学 都市デザイン学部教授

富山県商工会議所連合会 事務局長

一般社団法人富山県自動車会議所 専務理事

一般社団法人富山県トラック協会 専務理事

公益社団法人富山県バス協会 専務理事

富山県タクシー協会 専務理事

公益財団法人富山県交通安全協会 専務理事

株式会社北日本新聞社 社会部長

中日本高速道路(株)金沢支社 高速道路事業部 道路管制センター 交通管制課長

富山県警察本部 交通部 交通規制課長

北陸信越運輸局 富山運輸支局長

北陸地方整備局 道路部 道路計画課長

北陸地方整備局 富山河川国道事務所長

富山県土木部 道路課長

富山県土木部 都市計画課長

議 事：

〈渋滞関係〉

- (1)渋滞対策の進め方
- (2)これまでの検討経緯
- (3)渋滞状況のモニタリング
- (4)解除候補箇所の抽出
- (5)追加候補箇所の抽出
- (6)渋滞対策について
- (7)その他の視点
- (8)今後の進め方について

〈安全走行阻害箇所関係〉

- (1)これまでの検討経緯
- (2)意見に関する回答
- (3)令和3年度 安全走行阻害箇所の解除箇所の選定
- (4)令和3年度 安全走行阻害箇所の追加箇所の選定
- (5)令和3年度 安全走行阻害箇所数
- (6)今後の進め方について

議事要旨

<渋滞関係>

(1) 主要渋滞箇所の解除・追加候補箇所について

- ・抽出箇所について、今後、現地確認等を行い、次回委員会で解除、追加について議論を行う。

(2) その他の視点について

- ・災害時の交通マネジメントとして、今後、ETC2.0 データを活用して冬期の旅行速度分析や高速道路が通行止めになった場合の交通流動分析等を実施し、対策内容を検討する。
- ・県外、特に太平洋側からスタッドレスタイヤを未装着のまま富山県内に来る車両がスタックするケースがあるため、道路利用者へのアナウンスの仕方について、検討をお願いしたい。
- ・大雪時の渋滞状況を把握する手段として、ドローンの活用も有効と考えられるので、リアルな情報がなるべく素早く道路利用者に伝わるよう、検討をお願いしたい。
- ・大雪時は出控えを呼びかけたいとのことだが、富山県においては、日常生活の中で車を使わないわけにはいかないという社会になっているのが現状である。
- ・大雪時は、物流関係の車両をどのように迅速にお店に到達させるかも重要なポイントであり、物流ルートの見直しが必要である。
- ・今年の大雪を教訓に、地震等、他の災害も含めて、道路あるいは車の使い方を検討していく必要がある。

<事故関係>

(1) 意見に関する回答

- ・「安全走行阻害箇所」の名称について、「事故危険区間」に変更することで承諾を得た。

(2) 令和3年度 安全走行阻害箇所の解除・追加箇所の選定について

- ・安全走行阻害箇所の解除・追加箇所について、承諾を得た。

(3) その他

- ・高齢者事故の発生状況や特徴等を分析し、次回委員会で報告する。

<次回の委員会開催について>

- ・次回の委員会開催については、主要渋滞箇所の追加・解除以外の議題が生じない限り、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等から、個別説明と意見照会とすることで承諾を得た。

以 上